

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
次回2月1日号の締め切りは1月10日(水)です。
詳しくは、本庁秘書広報課広報広聴係 ☎21-8182へ。

たのしい日本語教室

一関国際交流協会が主催し、市内や近隣に住む外国の方々や“日本語の学習”や“日本の生活習慣”などを学んでいます。知り合いの外国の方々に参加を呼びかけていただければ幸いです。アシスタントも募集中です。
◇日 時…毎週日曜日13:30~15:30(1月は14日から)
◇会 場…一関公民館(一関文化センター内)
◇対 象…市内および近隣に住む外国人
◇内 容…日本語の基礎、日本の歌・料理・生活習慣・風土・文化など。そのほか出会いを通し一関で心豊かな日本の生活を送れるよう応援します。
◇受講料…1カ月500円(コピー代、資料代など)
◎問い合わせ先…同事務局 ☎31-1351(月水金午前)

凧作り教室・新春子供手作り凧揚げ大会

【やさしい凧作り教室】
◇日 時…2月10日(土)13:00~16:00
◇会 場…青葉集会所(山目公民館となり)
◇参加料…無料
【第28回新春子供手作り凧揚げ大会】
◇日 時…2月11日(日)受け付け12:30、大会13:00~
◇場 所…磐井川河川公園(山目側)
◇対 象…園児・小学生とその家族
◇参加料…無料
◇内 容…手作り凧揚げコンテスト(高度賞・デザイン賞・ファミリー賞)
◇申し込み…凧作り教室・凧揚げ大会共に2月1日(木)までにはがきまたはファクシミリで住所・氏名・学校名・学年・保護者名を記入の上、下記まで申し込みください。
◎申込先・問い合わせ先…一関ライオンズクラブ事務局 〒021-0882 一関市上大槻街5-17 ☎/FAX23-4445

音声訳ボランティア養成講習会

音声訳って?朗読とどう違うの?この機会に勉強してみませんか。
◇日 時…1月23日(火)、30日(火)10:30~12:30
◇会 場…一関市総合福祉センター
◇講 師…岩手音声訳の会
◎問い合わせ先…松本 ☎23-4969

新春経済講演会

今後の政局の動向や経済政策についての講演会を開催します。聴講は無料ですのでぜひ参加ください。
◇日 時…1月23日(火)14:00~15:30
◇会 場…ペリーノホテル一関
◇講 師…小林良彰さん(慶應義塾大学法学部教授)
◇講 演…「2007年!日本の政治経済の課題」
◎問い合わせ先…一関商工会議所 ☎23-3434

一関もち文化研究会第3回再現食行事

一関地方の各地域の伝統的なもち膳の調え方、提供の仕方やしきたりなどを記録として残し、地域や子どもたちに伝えるため、もち文化の再現食行事を行います。今回は花泉地方の年中行事、もち料理を再現し、あめもち、えびもち、ふすべもちなどを振る舞います。
◇日 時…1月21日(日)10:00~
◇会 場…老松公民館(花泉町老松字藤田274-2)
◇参加料…2000円(お膳代)
◇受付期限…1月15日(月) ※先着30人
◎問い合わせ先…一関もち文化研究会事務局(世嬉の一酒造(株)内) ☎21-1144

大正琴チャレンジ会

大正琴「琴陽教室」では、無料のチャレンジ会を開催します。琴は無料で貸し出します。この機会に大正琴にふれてみませんか。
◇日 時…1月20日(土)10:00~12:00
◇会 場…蔵ひろば2階
◇講 師…佐藤百合子さん
◎問い合わせ先…佐藤 ☎23-1991

太極拳・中国語・中国の歴史の各講座

日本中国友好協会一関支部は、日中友好のための市民講座を次の通り開催します。会場はいずれも一関文化センターです。
【太極拳講習会】
◇日 時…1月~3月の毎週火曜日18:30~20:00
【中国語講座】
◇日 時…1月~3月の第1・第2・第3金曜日
①15:30~17:00②18:30~20:00
【悠久5000年中国の歴史講座】
◇日 時…1月~3月の第4金曜日18:30~20:00
◎問い合わせ先…同事務局 島貫 ☎25-4167

シニアスキー教室参加者募集

冬の楽しいシニアライフをスキーで楽しみませんか。初心者から上級者までどなたでも参加できます。全日本スキー連盟公認指導員が、技術に応じて安全で楽しいスキー技術の講習を行います。
◇日 時…1月21日(日)9:30~15:00
◇会 場…まつるバスノーランド スキー場
◇参加費…2500円(リフト、昼食代は含みません)
◇参加資格…男子55歳、女子50歳以上
※スキー経験、技術は問いません。
◇受付期限…1月15日(月)
◎申込先・問い合わせ先…まつるペゴールドスキークラブ 古川 ☎24-2442 鹿野 ☎24-2388

博物館

Ichinoseki City Museum

だより

大槻文彦の愛蔵品 葛西清重夫妻肖像

3



畳に座る僧形の男女、葛西清重夫妻の肖像 (個人蔵)

常設展示室「舞草刀と刀剣」に1月28日まで展示

葛西清重は源頼朝の御家人(家臣)として奥州藤原氏との合戦に従軍、勲功により藤原氏滅亡後には奥州惣奉行に任じられて陸奥国御家人の統率に当たり、平泉郡内検非違使(警察・裁判権)をつかさどり、磐井、胆沢、江刺、気仙、牡鹿の五郡などの地頭職となりました。
清重はこの後も頼朝の信任を受け、三代将軍源実朝以降は宿老として重きをなし、幕政を総括した北条氏からも厚遇されました。この間、承久3

(1221)年ごろまでに仏門に入り、暦仁元(1238)年77歳で死去しました。なお、清重が拝領した当地方は以後400年にわたり葛西氏の領有するところとなりました。
この肖像は、わが国最初の辞書『言海』を完成させた大槻文彦(1847~1928)が愛蔵していた品です。大槻家は葛西氏の末流で、文彦は清重から数えて23世に当たります。
明治9(1876)年にこの肖像の存在を知った文彦は、すぐに所有者

と譲渡の交渉を始めますがうまくいかず、23年に至ってようやく手に入る事ができました。その日文彦はこの肖像を前に香をたき、神酒を献じて一人で数刻拝していた、と自身で書き記しています。さらに文彦は姪に肖像を模写させて、清重の墓と木像が伝わる東京の西光寺に模写画を納めました。
この肖像には、文彦の熱い思いが込められているのです。

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

平成18年度テーマ展3 和紙—その用と美

市内東山町は、江戸時代以来東山和紙の産地として知られ、今もその伝統が守られています。また、近年、一関藩の御用紙漉きを務めた家から御用紙の見本など貴重な資料が発見され、この地方の和紙生産の歴史が解明されつつあります。

和紙は、文字を書き伝え、遺し、また包装や衣類、建具などさまざまな生活の場面で利用され、日本の文化を支えてきました。多様な和紙の「用」と、その美を感じていただきたいと思えます。

■会期：1月20日(土)~3月11日(日)(月曜休館)

【関連行事】
講演会「紙の発生と伝播、和紙の使われ方のすばらしさ」

■日時：2月18日(日)13時30分~15時30分 ■講師：吉野敏武氏(宮内庁書陵部修補師長) ■対象：一般50人(先着順・電話で申し込み)

■展示解説会
■日時：1月21日(日)・2月4日(日)13時30分~14時30分、2月18日(日)講演会終了後 ※申し込み不要

はくぶつかん土曜くらぶ
第4回「和紙でつくろう」
2月17日(土)開催。詳細は広報2月1日号でお知らせします。